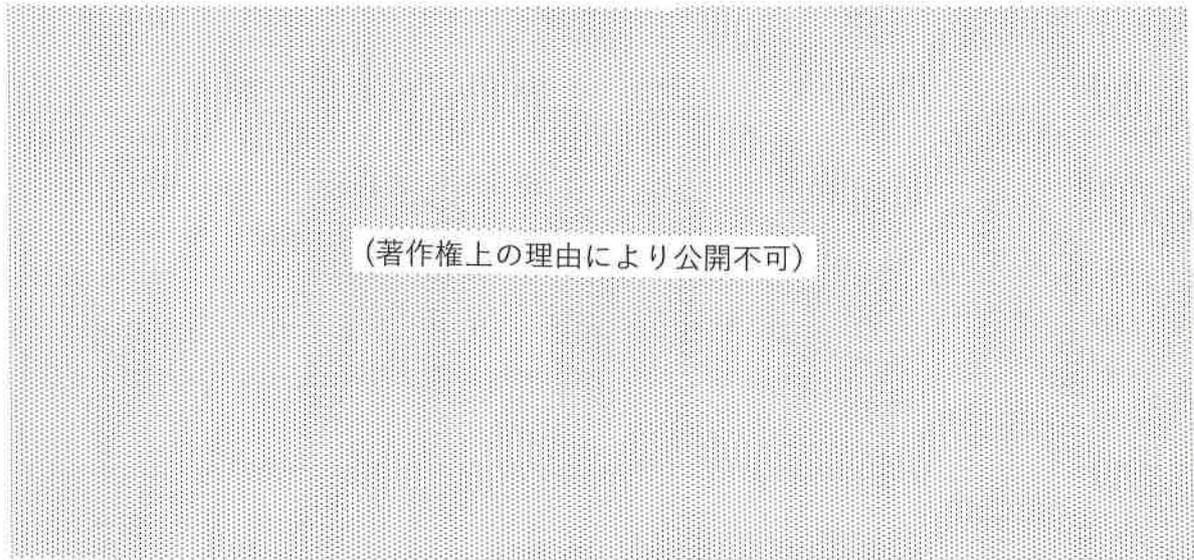


令和7年度 博士後期課程（4月入学） 入学試験問題 【問題1】

（赤字は解答例）

以下の腸と脳の相互作用についての説明文を全訳しなさい。



出典：Annual Review of Medicine Vol. 73:439-453(2021)

【解答】

前臨床試験では、脳、腸、腸内細菌叢の双方向の相互作用が確認されている。腸-脳-腸内細菌叢相互作用の変化は、いくつかの消化器疾患、精神疾患、神経疾患のげっ歯類モデルにおいて同定されている。過敏性腸症候群では、腸-脳相互作用の変化が明らかに立証されているが、過敏性腸症候群における腸内細菌叢の原因的役割については、まだ明らかにされていない。より効果的な治療法のための特異的な微生物標的がないため、現在のアプローチは、食事介入や中枢を標的とした薬理的・行動学的アプローチに限られている。腸-脳-腸内細菌叢系における原因としての影響をより包括的に理解し、これらのエキサイティングな前臨床知見を効果的な治療法に結びつけるためには、十分にデザインされたランダム化比較試験が必要である。

令和7年度 博士後期課程（4月入学） 入学試験問題 【問題2】

（赤字は解答例）

以下は、アルコールの摂取と健康について述べた文章です。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

（著作権上の理由により公開不可）

(1)なぜ、DGA(米国民の食事ガイドライン)にアルコールが含まれているのでしょうか。

アルコールを摂取し、食事の一部と考える人々にとって、アルコールはエネルギー源であるため、総カロリー摂取量の一因として考慮されるべきであり、このDGAガイドラインが含まれている。

(2)DGAでは、アルコール摂取に関する提案をしている。この文章で紹介されている点を全て記述してください。

(アルコールの摂取は、健康を害する可能性のあるものも含め、さまざまな健康上の結果と関連している。そのため、)DGAは、理由にかかわらず飲酒を開始すべきでは

なく、飲酒量が多いよりも少ない方が健康に良いとしている。アルコールを摂取する場合、DGAは適度な飲酒を推奨しており、アルコールを摂取する日の摂取量を男性は1日2杯以下、女性は1日1杯以下に制限している。さらに、例えば法で飲酒できる年齢に達していない人や妊娠中・授乳中の人などは、アルコールを摂取すべきではない。

出典：National Academies of Sciences, Engineering, and Medicine. 2025. Review of evidence on alcohol and health. Washington, DC: The National Academies Press.

<https://doi.org/10.17226/28582>. Summary, p.1より